

# 学校評価の重点化による学校改善

札幌市立清田小学校

## I はじめに

改善策の重点化具体  
化をめざす学校評価

### 1 本校における学校評価のねらい

本校の学校評価は、教職員の評価だけではなく、学校関係者評価委員会をはじめ保護者や地域の意見を広く取り入れ、信頼される学校づくりを目指している。「学校経営の重点」「学習指導」「心の指導」「教育環境」に重きを置いた評価項目を設定することで学校の目指す姿を明らかにした学校評価を行っている。

### 2 昨年度の学校評価をもとにした改善点

本校では、昨年度の学校評価から下記の点について改善に取り組むこととした。

《年度末反省から》

- 1) 朝の国語・算数タイムのカリキュラム編成
- 2) 児童の委員会活動の通年化
- 3) 職員会議の協議事項精選のために部長会での重点化

《保護者評価から》

- 1) 子どもたちの挨拶の指導
- 2) 読書に親しむ習慣づくり
- 3) 基礎的・基本的な力を付けるための宿題提出の継続的な取組

《学校関係者評価委員会から》

- 1) 地域と学校、双方向の交流を深めることを目指す学校づくり
- 2) 基本的なルールを学ばせる学校づくり
- 3) 確かな学力を定着させることを目指す学校づくり

## II 本校の学校評価システム

全員がかかわるシス  
テム

### 1 自己評価と評価委員会

昨年度は、部長会（教務主任と4部長）が評価委員会を兼務していた。今年度は、教員全員が様々な視点から評価し、「学校運営を全職員で」という意図により部長以外のメンバーで評価委員会（教務主任と各部、各学年の代表）を構成した。評価委員会は、自己評価を含め評価の年間計画、実施方法、会議の持ち方などの評価活動を行っている。

地域と学校が双方向  
でかわる

### 2 学校関係者評価委員会

教育説明会や教育報告会へ出席していただきご意見をいただいている。委員会では自己評価をもとにした改善策について子どもの育ち、教職員の姿勢、指導の方向など多岐にわたり、評価をいただいている。委員会の中でいただいた意見も含めて、学校関係者評価書にまとめ学校ホームページ・学校だよりを通して公表している。

### Ⅲ 学校評価の年間の流れ

月	期	自 己 評 価				学校関係者評価
		学校（教職員）	児童	保護者	地域	学校関係者評価委員会
4	前	<input type="checkbox"/> 参観・懇談会 <input type="checkbox"/> PTA 総会 <input type="checkbox"/> 家庭訪問				<input type="checkbox"/> 入学式来賓として出席 <input type="checkbox"/> PTA 総会に出席
5		<input type="checkbox"/> 運動会	■運動会カード	<input type="checkbox"/> 運動会 保護者感想カード	<input type="checkbox"/> ゆめ田んぼ 田植え (ライオンズク ラブ、区役所関 係者など)	<input type="checkbox"/> 運動会観覧
6	期	<input type="checkbox"/> 参観・懇談会 ■教育説明会				<input type="checkbox"/> 教育説明会に出席 ■第1回学校関係者評価
7		■教育相談会	■1学期の 自己評価		<input type="checkbox"/> スクールゾー ン実行委員会	
8		■職員会議で 中間評価提案				
9		<input type="checkbox"/> 参観・懇談会 ■中間自己評価実施 ■評価委員会				
10	後	■中間評価全体会 <input type="checkbox"/> 学校公開日				<input type="checkbox"/> 学校公開日を参観
11		■保護者、地域に中間 評価のまとめ公表 (学校便り)	■学習発表会 カード	<input type="checkbox"/> 学習発表会 保護者感想カード	<input type="checkbox"/> ゆめ田んぼ もちつき会 (ライオンズク ラブ、区役所 関係者など)	<input type="checkbox"/> 学習発表会観覧
12		■教育相談会 ■年度末自己評価の 実施		■保護者評価の 実施		■第2回学校関係者評価
1	期	■評価委員会 ■年度末評価全体会				
2		<input type="checkbox"/> 参観・懇談会 ■教育報告会 ■保護者、地域に年度 末評価のまとめを 公表(学校便り、ホ ームページ)				■第3回学校関係者評価 <input type="checkbox"/> 教育報告会に出席
3		<input type="checkbox"/> 次年度教育計画 <input type="checkbox"/> 懇談会	1年間の自己評価			<input type="checkbox"/> 卒業式来賓として出席

\* 新型インフルエンザによる学級閉鎖などにより行事、会議等を予定より遅らせて実施したものもある。

## IV 学校評価の方法

中間評価と年度末評価の違いを明らかに

### 【評価の流れ】

#### 前期の教育活動

##### ＜中間評価＞

- ◎子どもの育ちからみた評価から  
全校で共通理解し取り組むこと
- ①気持ちのよいあいさつ  
ができる清田の子
- ②宿題の提出の約束
- ③体を動かして仲間と遊ぶ

##### ＜学校関係者評価＞

##### ＜後期に向けての計画＞

- ・各部にて評価を受けて活動の見直しを行う
- ＜あいさつの重点化＞

#### 後期の教育活動

##### ＜保護者評価＞

##### ＜年度末評価＞

- ◎学校運営を中心とした評価から
- ①朝の国語・算数タイムに対して共通理解
- ②地域の教材化の継続と再構築
- ③特別教室の使い方

##### ＜学校関係者評価＞

##### ＜次年度に向けての計画＞

- ・各部にて評価を受けた次年度の計画

#### 次年度の教育活動

子どもたちの様子を見ていただく機会を大切に

## 1 自己評価

### (1) 項目の設定

中間評価では、主に学級・学年経営を切り口とした子どもの育ちに重点を置いた評価を行っている。年度末評価では、学校運営を中心とした評価を行うことにより、多岐にわたって評価できるようにした。

保護者評価においては、昨年度までは、「清田小の子ども」について評価していた。今年度からは、自分の子どもに対しての評価項目を新たに設定した。そのことで学校が、保護者の「清田の子」に対する評価と「自身の子」に対する評価を比べることができるとともに、保護者自身が、家庭教育に対して、自身の子に対して改めて見つめ直すよい機会とした。

### (2) 効率的な外部アンケート等の実施

保護者アンケートの名称を保護者評価に変更し、記名方式をとることによって回収率を上げ、より多くの保護者から意見をいただくことができた。

昨年度までは、保護者評価を受けての改善策の公表は学校だより、教育報告会で行っていた。今回記名方式をとったことで直接保護者本人にお答えしたり、学級懇談会で話題にしたりすることができるなど、保護者評価に対してすぐに対応することができるようにした。

運動会や学習発表会では、それぞれの行事に対する学校としての考え方、学ばせたいことなど見てほしい子どもの姿、取組過程の子どものがんばりを学校だよりを通して保護者に伝えた。事前に行事のねらいを伝えたことにより、行事後に行うアンケートには、学校のねらいを踏まえての意見がいただけると考えた。

### (3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

自己評価は、達成状況を4段階評価することと自由記述の両方で実施している。集計は、評価委員で行い、改善策を示し、自己評価書を作成している。

### (4) 改善策の検討

評価委員会で改善策を検討する。各部からの意見を受け、評価委員会で協議し評価全体会で検討している。教職員自身も外部への公表ということで責任の重さを感じ、意識も変わってきている。改善の方向性だけを決めるのではなく、改善の手だての共通理解を深めていける取組を行っている。

## 2 学校関係者評価

### (1) 学校関係者評価委員の構成と役割

学校評議委員（青少年健全育成会主任児童委員、町内会連合会副会長、児童会館館長とPTA会長）、まちづくりセンター所長の5名で構成している。教務が中心になって会を進め、校長、教頭、教務主任が説明を行っている。日頃から学校教育への理解を深めていただく機会を大切に運動会や学校公開日、学習発表会などに来校いただいている。委員会では、自己評価書をもとに中間評価や年度末評価の反省からの本校の改善の方策について評価していただいている。

2年間同じメンバーで構成することで、清田の子の変容を見ていただくことができ、学校関係者評価委員の方も会議の進め方や会議で出た意見の反映の仕方などをご理解いただき、委員自身の意識が変わってきている。

### (2) 学校関係者評価を生かす取組

ご意見をいただいた改善方策については、再度評価委員会で検討し、各部、各学年でその改善に向けての取組を始める。計画から短い時間で行動に移すこと、改善方策に対して職員会議や部会の中で教職員の共通理解をすることが大切である。

## V 評価結果の公表

### 1 公表の方法

保護者・地域には中間、年度末評価の分析と改善方策について学校だよりとホームページに公表している。また、教育説明会・教育報告会では、全職員がそれぞれの立場からパネラーとして保護者に直接主張する場を設けている。保護者評価については、学校だよりを通して学校としての取組を報告するとともに、すぐに対応するものに関しては、担任から保護者に直接連絡をとることにしている。

### 2 公表の効果

対応できるものについては、すぐに改善に取り組むことで学校評価委員会からも信頼を得ることができた。

挨拶の指導では、学校での取組が家庭にも伝わり、その成果が表れてきている。また、基礎学力の向上においても、宿題の提出、家庭学習への習慣化に向けて学校と家庭が協力して取り組むことができた。

学校が、保護者評価に対して一つ一つの意見を大切に、それに応えていくことで学校の教育活動に対して関心と信頼をもつ保護者が増えてきた。また、保護者自身が家庭教育を見直すよい機会にもなり保護者の意識の高まりを感じる。

一つ一つ誠意をもって大切に改善する

## VI 成果と課題

### 【成果】

- ・保護者、学校関係者評価委員会の評価を学校自体の課題としてとらえ、改善策を考え教育活動に生かすことができた。
- ・中間評価や年度末反省において、学校として目指すものをはっきりとさせることができ、全職員が共通理解のもと、それぞれの立場から課題に取り組むことができた。
- ・運動会や学習発表会では、保護者向けに学校の行事に向けての考え方、取り組み方を伝えることで、それぞれの行事が日常の教育実践を基に行っていることを伝えることができ、保護者の学校行事に対する意識、見方が変わってきている。
- ・保護者一人一人の意見を大切にすることにより、学校に対する信頼感や期待感を高めることができ、保護者の学校への関心の高まりを感じた。
- ・評価項目を2年間同じものを使うことで改善策の有効性が分かった。

### 【課題】

- ・中間評価の時期を早めることで、その改善策を後期からすぐ実践することができた。今後も、評価の時期や評価の流れをテンポよく計画していくことが大切である。
- ・年度末評価が12月末のため、四節の最後である「発展期」の子どもの姿と評価がずれてしまう。効果的、効率的な評価の方法を探っていかなければならない。
- ・評価にかかわる会議だけでなく、職員会議も含めて日常的に子どもの育ちについて話し合いをもつことが大切である。
- ・職員間で改善策の共通理解を深めるとともに、これからも保護者や地域に積極的にかかわり、働きかけたくさんの声を聴き、保護者や地域とともに子どもを育てることを目指し、教育活動に生かしていかなければならない。

保護者の意識が高まった

### 【参考文献】

- ・「札幌市の学校評価」 札幌市教育委員会
- ・「学校評価ガイドライン」 文部科学省

平成21年自己評価書(中間評価)

札幌市立清田小学校

1 本年度の重点目標

温かさと活力のある教育活動の推進  
～すべては子どものために～

2 本年度の経営方針

- ①子どもを主体とした活気あふれる学校づくりに努める。
- ②学び方を身につけ、意欲的に学ぶ子どもを育てる。
- ③創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善を行う。
- ④共同研究の深化を図り、専門性を高め、創意ある教育活動をめざす研修を推進する。
- ⑤豊かな心を育む教育環境をつくる。～地域と共に歩む学校

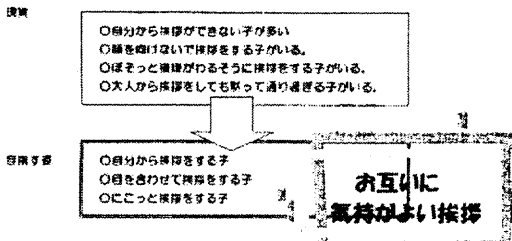
3 自己評価結果(中間評価です。学年・学級の窓口から評価してください。そこから、個人の問題か、学校運営の問題かを明らかにして改善策を具体的に記述して下さい。)

\*達成状況: A=とてもそう思う B=少しそう思う C=あまりそう思わない D=全くそう思わない

- 学年経営の窓口から評価しますので、具体的に書いてみた内容すべてで評価してほしいというわけではありません。あくまでも、このような具体的な項目で評価できるのではないかと例です。自分自身の教育技術や指導者としての人間性の評価、子どもを育てることができたかという評価が混在しています。学校全体としては、曖昧にしたいと思います。
- ABCDの評価は、主観的になると思います。自分の前期の学年・学級経営をふり返り説明責任を果たすことができる評価をしてください。
- 改善の方向の記述は、A評価以外は必ず記述して下さい。個人の問題か学校運営の問題かが、伝わるように記述してください。

情	評価項目	評価項目をもう少し具体的に考えてみました
重点目標	スリム化をめざし、重点をかけるところを明確にした実践が行われたか。	重点をおいた学年、学級経営・ポイントを絞った育てたい子どもの姿
	創意ある教育課程編成が行われたか。	清田っ子活動・朝読書、寄託図書を活用、読みかせ活動・総合的な学習の時間的な学習の確立・外国語活動の推進・道徳の充実・ひまわり学級との交流
	学校共同・協働体制がなされたか。	複数の目で児童理解・授業研修の充実・学年合同授業と教科分担・学年朝会・学年研修の充実・統一した生活指導・先生のもち味を生かした・公平な仕事分担
	学びの支援委員会と連携し学級への効果的な支援を行うことができたか。	多面的な児童理解・スクールカウンセラーや巡回指導員・学びの支援全体会、支援委員会からの働きかけで学ぶ
学習	基礎的・基本的な内容の確実な定着 ～わかる授業	反復練習・おはようタイムの学習・宿題や家庭学習・ノート指導の徹底・首読練習の工夫・評価の工夫・子ども目

自分たちで選ぶ田の子を自選して

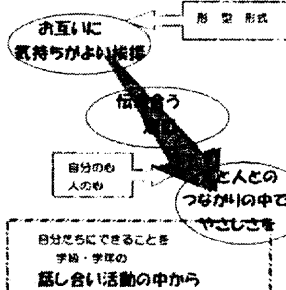


まず学年共有会終了までを第一段階として

教職員取り組み

- ①教職員から進んで気持ちよい採択をし続ける。
- ②気持ちよい採択をしてくれた子に声をかけ始める。
- ③気持ちよい採択をしてくれた子のことをミニカードに書き、掲示欄に掲示する。
- ④学校裏で全校的な取り組みを知らせる。
- ⑤学年毎に『採択シリーズ』を作る。自分の学年の子ども(学年、個人)の採択を情報として発信し、話題の話題に載せてもらう。

子どもたちへの働きかけ



全校朝会で自分たちの学年の取り組みを紹介したい

行事等で全校朝会への組み入れを検討

- チェックカードを作る
- しべルアップする目標作り
- 先生たちと同じく気持ちよい採択見つけよう
- 採の音や採りの音で集積しよう
- ポスターを作る
- お互いに助けあおう

自分たちで選ぶこと 学年・学級の **話し合い活動の中から**

(例えばある学級では、学級活動話し合い活動で)

準備をかけて、じっくり、具体的に、子どもたちと話し合ったそうです。先生からお聞きした内容をご紹介します。この1学期、1年生は大きく変わりました。1年生だからでしょうか?短期間だからでしょうか?

「どんな場面・どんな時」「誰に」「どんな採択」「どんな気持ちで、どんな表現で」...

学級活動部で各学級学年の取り組み状況を把握し、お互いの取り組みを知り合う工夫を検討

朝通学路で交通指導のりこぎったら  
朝読書先生に会ったら  
朝読書先生に会ったら  
廊下でお客さんらしい方に会ったら  
廊下で広場に会ったら  
時、教室に入る時  
時、教室と  
帰る時

「おはよう」「おはようございます」「さようなら」「また明日」「こんにちは」「いただきます」「ごちそうさま」

目を覚めて  
軽く挨拶をして 深く挨拶をして  
こっこり  
はっきりとした言葉で

秋の行事で清田の子どもの変化をアピールし、その評価を子どもたちの自信につなげる

行事部で行事の種別評価化を検討

児童活動部で朝会取り組みを振り返り、次に向けての活動を考える

児童活動部、委員会活動で取り組みの振り返り

「考える・伝え合う」子ども育てる採択改善

採択部で特に朝会で「伝え合う」子ども育てる具体的な取り組みを検討



新たに力を入れて取り組んでいくのは「気持ちのよいあいさつができる清田の子」です。「おはよう (ございます)」「さようなら」「こんにちは」などの基本的な挨拶を自分から発することができない子が多いのが現状です。参観・懇談、PTA活動などでご来校の折、子どもたちからの挨拶が少ないことを寂しく感じている方が多いのではないのでしょうか。本校の学校関係者評価委員の方からも「社会人になった時、挨拶ができないようでは人間関係を築く第一歩でつまづいてしまう」との指摘を受けております。各学級で様々な取り組みをはじめ、お子さんから様子をお聞きになり、ご家庭でも「自分から挨拶をする」についてご指導をお願いいたします。

**全校で取り組んでいくこと part 1**

## 気持ちのよいあいさつができる清田の子

**自分から  
目を合わせて  
にこっと笑顔で**

《学校では》  
 ・おはようございます ・こんにちは ・さようなら  
 《家庭では》・おはよう (ございます) ・おやすみ (なさい)  
 ・ただいま ・いってきます ・いただきます ・ごちそうさま

【あいさつが難しいことなのはわかっているけど・・・】

- ・恥ずかしい
- ・名前も知らない人に
- ・面倒くさい
- ・話に夢中になって

**あせつを  
してみよう**

- 自分自身への自信につながる。
- 自分の存在感の意識が強くなる。
- 担任でない先生とも仲良しになれる。
- 挨拶を交わし合う気持ちのよさを知る。
- コミュニケーション力を伸ばす第一歩。
- 相手をおもいやる心を育てる。
- マナーの大切さを学ぶことである。

学校職員は「気持ちのよい挨拶」をしている子へ向けてカードにメッセージをのせ、1階廊下に掲示しています。ご来校の折にご覧ください。

## 平成 21 年度 保護者学校評価 ( 年 組 )

記入者のお名前を書いてください。

○お手数をかけますが、お子さんお一人に一枚アンケートのご記入をお願いします。  
 ○運成状況につきましては、A B C D の いずれか 1 つに ○をつけてください。  
**A=とてもそう思う B=そう思う C=思わぬ! D=わからない**  
 ○12月7日(月)までに担任へ提出をお願いします。

	評 価 項 目	達 成 状 況			
重 点	①A 「気持ちのよいあいさつができる清田の子」をめざして指導を続けています。学校行事・参観日など学校内で会った時、清田小の子どもたちは気持ちのよい挨拶ができるようになってきていますか。	A 0/24	B	C	D
	①B 家庭で挨拶を交わすことは定着していますか。お子さんは家族に気持ちのよい挨拶をしていますか。	A 0/24	B	C	D
目 標	②朝の読書、読みかきせの活動、そして日常的に読書の時間を各学級で大事にしています。図書館での貸し出しも毎日行っています。お子さんは、家庭でも読書に親しむ様子が見られていますか。	A 0/24	B	C	D
	③大きな行事として「入学式、運動会、学習発表会など」があります。各行事の目標に向けて、練習、話し合い、約束事の見直しや徹底に力を入れます。行事へのいろいろな取り組みを通してお子さんが意欲的になったり、成長したりする姿が見られますか。	A 0/24	B	C	D
	④委員会活動、サークル、学級の係活動、給食や掃除の当番活動、「清田っ子広場」(異学年交流)など幅広い活動の中で、学校では責任感・自主性・自律を育てようとしています。お子さんは家庭での仕事に自ら進んで取り組んだり、責任を果たしたりするようになっていきますか。	A 0/24	B	C	D
	⑤A 基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させるため、朝の「国語・算数タイム」「わかる授業」「ノート指導」宿題や家庭学習「T T 指導」が進められています。子どもたちに基礎的・基本的な力をつけるための学	A 0/24	B	C	D